

スポーツフェスタを成功させよう！

－自分の足で今日を歩み、生活行動を作る－

秋の気配の漂う頃となりました。平素は、聖母の小さな学校の教育に格別のご協力をいただき、ありがとうございます。

2学期が始まり、一か月が経ちました。本校に在籍している5名の生徒も、それぞれの状態に合わせて、一步一步、自分の足で今日を歩むことを大事にして生活をしています。

小さなステップを自分の足で丁寧に歩む時、心と行動のバランスがとれ、「本当の自分に出会い、新しい自分へ」と成長していきます。ある生徒は「1年以上会えなかった担任に会えた」とか、別の生徒は「朝起きることができるようになり、家庭の中での手伝いなど行動が広がり、精神的に落ち着いた状態を保つことができている」など、社会的自立の基礎になる力をつけています。こういう小さな変化は、自身の生活行動を作り、バランスのとれた日々の生活を形作ることになります。そのために本校では、様々な体験学習を取り入れています。9/27にあった「釣り大会」もその一つです。参加した一人の生徒が何匹か釣れた後、釣り糸がからまりました。一度、ゆっくり教え、ほぐし、解けました。しばらくして再び糸がからまった時、随分苦戦していたので、「大丈夫？」と声をかけました。すると「もう少し頑張ってみる」と言って、とうとう自力でほどきました。さわやかな表情をしていました。「もう少し頑張ってみる…。いい言葉だなあと思いました。



さて、10月12日（土）には、聖母の小さな学校の学びの集大成とも言える「スポーツフェスタ」があります。毎日通学できるようになった生徒を中心に、生徒それぞれの状態に合わせて準備を進めています。スポーツフェスタの取り組みの第一は、自分を知るために「自己を見つめる」ことをします。自分が学校に行けなくなって、悩み、苦しんでいた日々を見つめます。卒業生たちも同じように「不登校の自分を見つめ」、「受け入れ」、「生きる土台」を作ってきました。そして彼ら卒業生は「困難な時＝不登校の時の自分を見つめる」ことは、「本当の自分に出会う」ことだった、と言います。在籍中の生徒もこの課題に懸命に取り組み、今年度は次のようなテーマが生まれました。

<スポーツフェスタ 2019
大会テーマ>

学校は、先生や周りの人が怖くて居られなかった。
行ったり休んだりしていたが、苦しくなる一方で、
心も体も限界が来た。
そして、「聖母」に来了。

ここから一歩ずつ、社会的自立に向けた学びを続け、導いてゆきたいと思います。今年は創立30周年記念大会です。どうぞ、スポーツフェスタにお出かけくださり、励ましてくださいますよう、よろしくお願いたします。